



こんにちは

# 白子の議会

です

第88号

平成20年5月1日

編集発行  
白子町議会  
☎ 0475(33)2111



たまねぎ祭り(第8回)

## 第1回定例会

- 一般質問は3名の議員が町政を質しました…2～4ページ
- 平成20年度予算の質疑応答……………5～7ページ
- 永年在職議員表彰……………8ページ

# 一 般 質 問

## 町政をきく

平成20年第一回定例会が3月6日から13日までの8日間開催され、3名が登壇し町政全般を質しました。

### 行財政改革について

齋藤鉄也議員

**議員** 一市六町村の合併が破綻し、自己決定、自己責任による小さくても自立した町づくりを進めていくにはどのような行財政改革を断行するのか伺いたい。

今までどおり

行財政改革の継続

**町長** 今までどおり行財政改革を継続していきます。平成十七年度を初年度とする五カ年計画で、白子町行財政改革プランと白子町行財政改革実施計画を立て推進しています。

今年度の歳入は、収税率の向上と負担の適正化のため使用料の見直しを行います。歳出面では、負担金、補助金と職員の設定員削減計画を進め、特別職の給料、一般職の手当の削減を行います。白子町の交付税は、十四か

ら十五億円でありましたが、小泉内閣のとき打ち出された三位一体改革で、九億円まで削減されてしまった。地方は苦しい状況ですが、交付税の復元を全国市町村会を中心とし更に要望する。

若ものの

働く場所

**議員** 若い人にむけ働く場所を提供するべきだと考えますがいかが伺いたい。

若ものを増やす

きっかけづくり

**町長** 企業誘致は現実問題としては難しい。若い人を増やしていかなければならないので、町有地の活用をし、きっかけづくりをしていき

いと考えております。

職員の評価に

ついて

**議員** 人事委員会の給与勧告により、職員給料のベースアップが行われるようだが、職員の評価をどのように判断しているのか伺いたい。

適切に指導

**町長** 職員は相当な頑張りをしていると判断している。大都市と違い、顔の見える中で、適切に指導している。

生活道路の

整備について

**議員** 町民が安心して暮らせる町づくりを目指すなかで、道路の側溝にふたがない箇所が見受けられ、高齢者には危険だと思いが町の具体的な対策

について伺いたい。

重要性を

考慮し対応

**町長** 町内の道路整備は、昭和四十年代後半、農業舗装事業が導入され、舗装率は近隣市町村では長生村に次いで高い。しかし三十年以上経過し、劣化や側溝のふたがない箇所も見受けられる。緊急性・重要性を考慮し対応していきます。



町道114号線（刺金地先）

## 乳幼児医療就学前まで無料に

市川隆子議員

**議員** 乳幼児医療を就学前まで無料に、という署名を町長に届けました。

県は、来年度の予算案で通院の助成対象を就学前までに拡大すると発表しましたが、町も県に準じて制度の拡大を行うのか伺います。

## 県に準じた対応

**町長** 県が二十年十月月から入院、通院の医療費助成を就学前までと発表しましたが、町は県に準じた対応をしたいと思っています。

## 後期高齢者医療 住民負担は

**議員** この制度は、七十五歳以上の人を後期高齢者として、現在の医療保険から切り離すものです。保険料は、収入がゼロの人を含め、すべての人が払います。国民健康保険の加入者は、四月から



徴収され、扶養になっていく人は、徴収が一部先送りされます。しかし、二年後には全額支払うことになります。  
国は、保険料の負担は変わらないと言っていますが、住民負担はどのようになるのか伺います。  
また、四月からは滞納した人への資格証明書の発行が可能になります。適切な医療給付を行うという法の趣旨からも、実質的な無保険者を生み出す資格証明書の発行はやめるべきだと思いますが、どのような対応をするのか伺います。

## 負担増にならない

**町長** 後期高齢者医療制度の保険料は、全国で下から十一番目となっております。中位以下の安い設定と認識しています。国保は世帯課税ですが、七十五歳以上は、個人課税などで、世帯全部の合計を比較すれば、高額な負担を強いられるようにはならないと思います。

資格証明書の発行は、県後期高齢者医療法で、検討中です。あくまでも払える能力がありながら払わない人に対する措置です。

## 安心できる 医療体制を

**議員** 県は、消防広域化推進計画で、消防本部を七にする広域化の組み合わせを示しました。広大な地域である長生・いすみ・山武郡市の消防本部が一つになったら、救急体制がとれるのか不安に

なりませんが、今後の見通しを伺います。

今、病院は医師不足が大きな社会問題になっていきますが、長生病院の現状を打開するためには、病院の果たす役割を重視し、まずは医師の確保が最重要課題だと思います。人材の確保をどのようにすすめるのか伺います。

## 引き続き医師 確保に努力

**町長** 消防広域化は、将来の人口減少による消防体制の確立を図るということで、考え方は当然だと思えますが、このことで住民サービスが低下してはならないと思っています。

長生病院は、四月一日から新院長を迎えますが、今後も関係機関と連携を一層密にしながら、引き続き努力していきたいと思えます。



## 検診の 果たす役割

**議員** 四月からは、基本健診から特定健診になります。

これまでの基本健診の目的は、病気の早期発見、早期治療に重点がおかれていたので果たしてきました。役割は大きいと思います。町はどのように考えているのか伺います。

## 生活習慣病の増加

**町長** 基本健診を導入して、今は生活習慣病が増え、高齢化も加わり、今後ますます医療費が膨らむと予想されます。

これからは、健康的な生活習慣を身につけてもらう取り組みを重視し、健診者全員に生活習慣病のリスクに応じ保健指導をしていきます。

PR活動を充実させ関心をもってもらえるようにしていきたいと思えます。

## 公立長生病院の 医師不足の解消のメドは

河野 豊議員

**議員** 全国的に地方公共病院の医師不足がテレビ、新聞等で話題になって久しく、慢性化した感もあるところですが、長生病院も同様に医師不足が長引いており、診療にも多大な影響が出ています。解消のメドは。

### 明るい見通しに

**町長** 全国的な医師不足が深刻になってきている中、長生病院も同様な状況にあります。医師不足解消については、インターネットを利用したり、医師あつせん機関を活用しての全国的な医師募集活動を展開しています。今年一月に一人の内科医師を、四月には内科医の院長を迎えることができ、多少は明るい見通しになってきました。



## 長生病院の赤字 経営の改善策は

**議員** 平成十九年度決算

において赤字決算となり、我が白子町にも約千七百万円の負担が求められました。十二月議会において補正で対応した所ですが、二十年度予算においては収入が足りない異例の予算になっています。公設民営に経営転換しては。



医師不足解消へ（長生病院）

## 管理者と一緒に 努力を

**町長** 収入の増減は診療報酬の上げ下げによって医業収益に影響してきます。行政職が病院経営するのは無理だということもありますが、企業経営の経験者を活用ということとで招くことも大変難しい問題もあります。公設民営は受入れ先の問題もあります。経営の改善は管理者と一緒に努力をしてまいります。

## 土地改良区の 改編を

**議員** 白子町全域に耕地整理事業が着工され、既に四十年の歳月が過ぎました。現在、野菜、麦、

その他の畑作物の安値により、休耕畑の増加は目に余るものがあります。その上に米価の下落により農家の生産意欲も低下しています。収入の減った農家救済の一助として、白子町全域を一つにした

土地改良区に改編する意義は大きいと思うが考えは。

## 維持管理を行なえる 体制がまず第一

**町長** 本来工区というのは土地改良が完了した時点で解散して維持管理組合を設立し、管理を実施していくのが通常です。本町は工事工区のまま維持管理を続けています。

平成十六年に両総地区の土地改良事業協議会を立ち上げ、統合を進めるということとで議論をしています。なかなか具体化しません。統合を目指すということは維持管理を行なえる体制が、まず第一、最終的な判断は農家だと思えます。

## 年長児童保育料 無料化の成果は

**議員** 子育て支援事業の一環として、十九年度より長生郡市では初めてとなる年長児童の保育料無料化という白子町独自の

政策を行ないました。一年を経過してない所ですが、成果と問題点があれば、伺いたい。又、町民からは良い評価も聞いておりますが、年中児童にも拡充する考えはないか。

## 前向きに検討させて いただきたい

**町長** 昨年の議会においてご理解をいただき、無料化に踏み切りました。保育料収入は減になりましたが、保護者からは評価を得ています。まさしく議会の皆さんの後押しの成果だと思っております。年中児童の無料化も考えなければいけないと思っておりますが、財政の状況も考慮し判断したい。



仲良く遊ぶ園児（白瀧保育所）

# 平成20年度白子町一般会計について の質疑の概要

平成二十年度白子町一般会計歳入歳出  
予算は、賛成多数で可決された。多くの  
議員から質疑があり、その概要につ  
いて報告をする。

## 【鈴木正美議員】

**議員** 白子町として、光ファイバーを早く導入すべきと思うが何う。

**町長** 白子町に、引くこととの努力をし、六百名以上の仮予約を集めNTTに要望を出してあります。

## 【三橋吉辰議員】

**議員** 結婚相談事業活動と町の取り組みについて何う。

**産業課長** 結婚相談事業については、農業委員会、社会福祉協議会を中心に活動していただき、他町村との交流等により現在二組が進行中である。

## 【宗島慶明議員】

**議員** 平成二十年度、何を重点に予算編成したのか何う。

**町長** 二本の柱で、健康づくりと、懸案であった

町道一〇九号線の単年度仕上げをしたい。

**議員** 新エネルギービジョン策定委託の取り組みについて何う。

**産業課長** 施設園芸を経営していく中で、石油価格の値上げで、経営そのものを圧迫している状況にある。代わりのエネルギーがないか、産業課で取り組んだ。その中で、その代替えとなりえるようなものが少し見え、更に調査、研究するため

の委託である。

**議員** 九十九里浜の砂の流出の予算について何う。

**町長** 県で調査をしている。組織も県にあり協議しています。

## 【山本浩一議員】

**議員** 白子海岸が、だいぶ侵食されている状況の中、町の対策について何う。

う。  
**町長** 侵食対策については、問題であると認識しており、今後も一生懸命取り組んでいきます。

## 【大多和正之議員】

**議員** バス路線の運行補助金四百十萬円の根拠について何う。

**町長** 町内巡回バスの話もあります。規定の路線バスの維持をまず優先して、茂原市と大網白里町一市二町で負担するものです。

**議員** 一〇一号線が完成するが、バスを通す考えがあるか何う。

**町長** 要望は、何回か出ていますが未知数、未定です。

**議員** 地引き網事業は、年何回開催するのか何う。

**商工観光課長** 地引網事業は、年四回です。回数を増やすことを考えたわけですが、網元の都合で4回が限界です。

## 【北田頼光議員】

**議員** 始まる後期高齢者事業のネーミングの変更

の考えはないのか。  
**町長** 全国的なもので、国が打ち出した制度名称であり違和感を持つていますが、白子町だけ変更は不可能です。

## 【板倉正道議員】

**議員** 不法投棄ごみ収集作業委託料の処理範囲について何う。

**町長** すべてシルバー委託で、道路周辺のゴミの散乱及びアジサイ等の草刈りが主です。

**議員** 病虫害防除事業の補助金増額理由について何う。

**町長** 有人ヘリからラジコンヘリに変更の為、面積も四百九十九ヘクタールから六百ヘクタールに増える為、また農家負担も、千五十円から千八百円程度に増える為の処置です。  
**議員** 中学校のプール内の補助器具の不良箇所の改修について何う。

**町長** 内容を把握し、備品購入費で予算措置し対応致します。

# 予算に対する 討 論

## 一般会計

### 反対討論

#### 【市川隆子議員】

小泉、安部と続いた構造改革路線によって家計はいため付けられ、貧困と格差が社会に広がっています。しかし、原油、穀物市場の高騰を受けた生活必需品や原材料の値上げが家計に追い打ちをかけられています。賃金は、一向に増えないのに

物価だけが上がっているためです。二〇〇四年に地方交付税が一方的に削減されて以来、毎年減額されてきました。これらによる参議院選挙で示された地方への対策として、地方再生対策を盛り込み、地方交付税が来年度は増額となります。こうした中で、町は今年度は郡内でも例のない妊婦検診の公費負担回数拡大の表明や独自の子育て支援など、大いに評価するところであります。しかし、福祉面での障害者自立支援法による応益負担などは、まだまだ国の基準通りの施策もありません。限られた予算ではあります。しかし、少しでも弱い立場の人達の負担が軽減されるよう予算に転換することを要望し反対討論といたします。

### 賛成討論

#### 【今関勝巳議員】

本案に賛成の立場から討論いたします。

予算総額三十六億六千八百万円の平成二十年度一般会計予算は、厳しい財政状況下の中で、地方交付税の大幅削減の続く、歳入予算であると思われまます。一方、歳出面では多様化する町民に対し、第三次総合計画に沿った歳出予算であります。このような状況下の中で平成二十年度一般会計予算は、限りある財源のもと、効率的な予算配分等を十分考慮した予算編成であると考え評価し賛成するものであります。

## 国保特別会計

### 反対討論

#### 【市川隆子議員】

国民健康保険の加入者は高齢者の割合が高く、医療費の増加とこれに伴う保険料の負担も増えていきます。その結果、住民はこれ以上の負担はできないというくらい過重な

負担になっていきます。また、六十五歳から七十四歳の高齢者の単独世帯と高齢者の世帯には、四月から国保税が年金天引きされます。現在、払えない人々には、ペナルティとして、短期保険証や資格証明書が発行されています。国保の収納率の低下は何よりも国庫負担が四十五%から三十八・五%に削減されたことにあります。これが、保険料の値上げの要因となり、滞納を増やす悪循環を拡大させることとなります。今、住民生活が一層厳しさを増す中、国保税を払いたくても払えない世帯も増えていきます。憲法や国民健康法の理念に沿い、住民の支払能力に見合った国保税の引き下げや国保税の減免措置の拡大、そして何よりも国が削減した国庫補助金を元に戻すなどを行うことこそ、今切実に求められていると思えます。以上のことを

### 賛成討論

#### 【三橋吉辰議員】

国民健康保険制度は、国保皆保険を支える医療保険制度として重要な役割を担い、地域医療の確立と住民の健康保持増進に大きく貢献しているところですので。一方、医療保険制度を取り巻く事情は、少子高齢化、疾病構造の変化、医療施設の整備等により、医療費は年々増加し国保財政を圧迫しております。さらに平成二十年度から制度改革の一環として、老人保険事業の廃止に伴う後期高齢者制度の施行、退職被保険者制度の廃止、保険者に義務づけられた特定検診、特定保健指導等目まぐるしく変わってきております。しかしながら、総合扶助の立場から本予算は、事業現状を踏まえて保険者の健康を守り、安心し

て医療を受けられますよ  
う計上されており本案に  
賛成するものであります。

### 後期高齢者事業 特別会計

#### 反対討論

##### 【市川隆子議員】

四月から実施される後  
期高齢者医療制度では、  
新たに保険料を払う扶養  
親族は保険料を半年間徴  
収せず、その後半年間は  
九割減額することになっ  
ています。しかし、国保  
世帯はそのまま徴収され  
ます。保険料の年金天引  
きや医療の制度など説明  
会を開いたところでは怒  
りの声が上がっているそ  
うです。既に全国で五一  
二の地方議会が見直しや  
中止、撤回をもとめる意  
見書や請願を採択してい  
ます。一部手直しが図ら  
れたとはいえ、後期高齢  
者制度そのものが四月か  
ら実施されることになり、

二年ごとの医療給付費の  
増加と高齢者人口の比率  
の増加による財源割合の  
引き上げによって、保険  
料が増加することは必死  
です。高齢者に大きな負  
担を迫らせる制度の実施  
は中止すべきである。以  
上のことを求め反対討論  
といたします。

#### 賛成討論

##### 【板倉正道議員】

従来の老人保健制度は、  
老人医療が増大する中で、  
現役世代と高齢者世代の  
負担の不公平さが指摘さ  
れておりました。四月か  
ら始まる後期高齢者制度  
は、この負担を明確にし、  
高齢者の医療を国民全体  
で支え国民皆保険制度を  
将来にわたって継続可能  
なものとするための新し  
い制度であります。この  
制度の運営は、千葉県後  
期高齢者医療広域連合が  
行うこととなっておりま  
すが、この特別会計は法  
律に基づいて、町が行う

べき業務に関連した予算  
を計上したものであり、  
制度開始に当たって必要  
な予算であります。よっ  
て本案に賛成するもので  
あります。

### 介護保険事業 特別会計

#### 反対討論

##### 【市川隆子議員】

介護保険制度は、すつ  
かり定着したかのように  
見えます。しかし、改正  
介護保険法で要支援の方  
は受けるサービスが制限  
されます。

今までも、保険料は年  
金天引きで介護が大変に  
なり、施設等を利用した  
くても利用料負担ができ  
ずに、利用を増やせない  
方もいます。高齢者が高  
齢者を介護するのは、体  
力的にも大変です。まし  
てや認知症であれば、介  
護者は気持ちの休まる暇  
がありません。こういう

方々でも、利用料負担を  
考えサービスを控えざる  
を得ない状況なのです。  
家族介護から社会が支え  
る介護へといわれてきま  
した。しかし、まだまだ  
安心して誰もが介護を利  
用できる制度とは言えま  
せん。やはり、少しでも  
負担を軽くするためには、  
低所得者に対する保険料  
利用料の減免制度の実現  
に努力すべきではないで  
しょうか。誰もが、安心  
して利用できる制度への  
改善を求めて反対討論と  
する。

#### 賛成討論

##### 【宗島慶明議員】

介護保険制度は、施行  
から八年が経過し、高齢  
者の介護を支える制度と  
して国民の多くが支持す  
るものとなりました。市  
町村の責任のもと、地域  
包括支援センターを核に  
他職種共同の事業展開、  
そして町内にもグループ  
ホームの介護資源が構築

され、新たなサービス体  
系も確立されつつありま  
す。平成二十年度は、第  
三期の介護保険事業計画  
の最終年度にあたります。  
今後の六十五歳以上の人  
口の急増を見定めつつ、  
軽度を対象とした新予防  
給付、要支援、要介護の  
恐れのある高齢者を対象  
とした予防事業に努め急  
激な増額を避けるようき  
め細かな対応を講じられ  
るとのことです。

介護労働者の労働環境  
の改善、専門性を重視し  
た人材育成と資源の確保  
など介護保険制度は、ま  
だ発展途上ではありますが、  
不断に改善しながら良質  
の介護サービスを提供す  
る制度へ発展されること  
など要望し賛成討論とい  
たします。



### 議会活動日誌

三月六日、十三日

・ 第一回議会定例会

十二日

・ 白子中学校卒業式

十八日

・ 各小学校卒業式

二十五日

・ 各保育所卒園式

二十六日

・ 広域議会臨時会

・ 郡町村議会議長会臨時会

二十八日

・ J A 長生通常総代会

二十九日、三十一日

・ 全国小学校ソフトテニス大会

四月三日

・ 各保育所入園式

八日

・ 白子中学校入学式

九日

・ 各小学校入学式

十五日

・ 議会広報編集委員会

二十六日

・ 老人クラブ連合会総会

会

## 永年在職議員表彰

平成二十年第一回、定例会において、永年在職議員に対する表彰状の伝達が行われました。

この表彰は、全国町村議会議長会長より、永年にわたり地域振興と、地方自治の進展に尽くされた功績により表彰するものです。

本町から、次の二名の議員が表彰されました。

自治功労者

(議員在職二十八年以上)

山本 浩一

自治功労者

(議員在職十五年以上)

宗島 慶明



## 町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は6月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2111/FAX33-4132  
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

### 編集後記

春、爛漫。各地でさくら  
らの便りが北上しながら  
季節を確実に伝えていく。  
わが白子町も関係者の  
方々の地道な努力で一足  
はやい河津桜に始まり、  
さまざまな種類のさくら  
模様が広まりつつある。

◆時節がら、児童、生徒  
の卒業、入学式が各校で  
行われた。  
別れ、出会い、すべて  
節目と門出ではじまる。

子どもたちの緊張した顔  
期待と不安はあろうがキ  
ラキラと輝いたその目は、  
早出の木の新芽に似てい  
る。やがて大きな葉にな  
りそれぞれの色の花が咲  
き、これもまた確実に育  
つていくだろう。

◆今、国会では年金、税  
法や医療制度、等々山積  
みする課題は数をあげれ  
ばキリがなく、連日のメ  
ディアや報道には押しつ  
けの感があり我々、庶民  
にはいささか飽食気味だ。  
この身近な諸問題が季節  
のように確実に解決され  
ていくのだろうか。

北田 頼光